

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 16 日(2024.8.16)

【公開番号】特開 2024-6395(P2024-6395A)
【公開日】令和 6 年 1 月 17 日(2024.1.17)
【年通号数】公開公報(特許)2024-009
【出願番号】特願 2022-107220(P2022-107220)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 7 日(2024.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出に関する動作を行うことが可能な第 1 の可動体と第 2 の可動体とを含む演出動作手段と、

遊技者側から見て前記演出動作手段より後方側に設けられる装飾部と、
を備え、

前記第 1 の可動体は、

30

第 1 の位置から第 2 の位置に移動する第 1 の動作と、第 2 の位置から第 1 の位置に移動する第 2 の動作と、前記第 1 の動作及び前記第 2 の動作とは異なる動作として所定の演出とを実行可能であり、

前記第 2 の可動体は、

特定の動作を実行することが可能であり、

前記所定の演出は、

回転力により演出を実行することを含み、

前記特定の動作は、

前記第 2 の可動体により前記第 1 の可動体を略水平方向に移動させることが可能な動作を含み、

40

前記装飾部は、

前記第 2 の可動体が前記特定の動作を実行するときと、前記第 2 の可動体が前記特定の動作を実行しないときとで視認性が変化する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

50

従来、パチンコ機あるいはパチスロ機といった遊技機において、当落判定を行い、この当落判定の結果に応じて遊技者に有利なゲームを実行する遊技機が知られている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

この種の遊技機では、当落判定の結果が表示される前に、当落判定の結果が遊技者に有利な結果であることを期待させるために可動役物を作動させる可動役物演出を行い、演出効果を高めるようにしたものがある。例えば、特許文献 1 に開示された遊技機では、可動役物演出が行われる可動役物として、第 1 の可動体及び第 2 の可動体を備えており、第 1 の可動体と第 2 の可動体とが近接方向へ回動して表示画面の前方に露出する可動体演出を行う。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献 1】特開 2014 - 076208 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、例えば特許文献 1 の遊技機では、第 1 の可動体と第 2 の可動体とが近接方向へ回動するといった、あらかじめ定められた一の動作パターンで演出動作するだけであり、可動役物演出としての変化に乏しく、興趣を高めるには限界があった。

30

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、そのような点に鑑みてなされたものであり、その目的は、興趣を高めることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、演出に関する動作を行うことが可能な第 1 の可動体（例えば、右装飾部 3340）と第 2 の可動体（例えば、右装飾駆動機構 3360）とを含む演出動作手段（例えば、上部演出ユニット 3200、3300、下部演出ユニット 3400）と、

40

遊技者側から見て前記演出動作手段より後方側に設けられる装飾部（例えば、左ベース装飾部 3212、右ベース装飾部 3312）と、

50

を備え、

前記第 1 の可動体は、

第 1 の位置（例えば、原点位置）から第 2 の位置（例えば、作動限界位置）に移動する第 1 の動作と、第 2 の位置から第 1 の位置に移動する第 2 の動作と、前記第 1 の動作及び前記第 2 の動作とは異なる動作として所定の演出とを実行可能であり、

前記第 2 の可動体は、

特定の動作を実行することが可能であり、

前記所定の演出は、

回転力により演出を実行することを含み、

前記特定の動作は、

10

前記第 2 の可動体により前記第 1 の可動体を略水平方向に移動させることが可能な動作を含み、

前記装飾部は、

前記第 2 の可動体が前記特定の動作を実行するときと、前記第 2 の可動体が前記特定の動作を実行しないときとで視認性が変化する

ことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

20

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明によれば、興趣を高めることが可能な遊技機を提供することが可能となる。

30

40

50